

理事長所信

2021年度理事長 中河西 宏樹

はじめに

一般社団法人いわき石川青年会議所は創立41年を迎えます。単年度制を敷く青年会議所において、1年、1年とバトンが渡され、昨年40周年を迎えることが出来、今年41年目と繋いでいただきました。

いわき石川青年会議所の草創期のメンバーに当時何が一番欲しかったか伺うと歴史という答えが返ってきました。知名度、実績がない当時どれほど苦勞して事業を構築したでしょうか。

今、私たちは40年の歴史、実績を元に無限大の可能性をもって行動しなければなりません。東京オリンピックの開催決定により上向いていた経済状況も、新型コロナウイルス感染症の猛威により経済状況が一気に下向き始めている、地方経済は依然として切迫した状況であると思います。しかし、ただ漫然と現状を維持するだけでは向上も成長も見込めません。それは経済状況だけでなく個人、会社、地域社会の活性化にも通じることだと思います。次の世代に何を渡せるのか。自分を見つめ直し、変革して行くことによって、地域全体に意識変革を起こさなければなりません。

1日、1日をチャレンジして行くことによって未来への基盤をしっかりとものに出来ると確信しています。

10年、20年と未来へ繋いで行ける様なJC活動を目指します。

地域活性化事業～お菓子と桜まつり～

石川地方にはお米に始まり、野菜、果物たくさんの四季折々の旬の食べ物が沢山あります。これらを最大限に活かす菓子店が多数あります。これらをPRし、今あるものを宣伝し活用することによって「たから」にしていきます。今年度は石川地方のお菓子のPRを目指したいと思います。そして昨年新型コロナウイルス感染症により、全てがストップし人と人の動きがなくなりました。イベントもなくなり地域の元気もなくなりました。今こそ新しいコロナ時代に即した様式で祭りを復活するために我々いわき石川青年会議所が率先し地域のお菓子と祭りを結んだ桜まつりを行います。いわき石川青年会議所が行うことにより知名度の向上が見込まれます。会員拡大活動をしていて、青年会議所がどんな活動をしている団体なのかが一般には知られていません。子どもを対象にした活動が多く、一般の人に接する機会が少ないからかも知れません。

このプロジェクトの過程で、JCの存在やその意義をもっと知ってもらえることが出来れば、会員拡大にも繋がります。

未来へつなぐ事業～空港の利活用～

現在では感染のリスクがある、人の移動自体が減っており、福島空港の利用者も2020年の4月～9月までで前年同期比約81%の減と非常に厳しい状況です。福島空港の持続可能な在り方を考え、新しい空港の利活用法を提案したいと考えております。

未来のいしかわ地方に、未来の子供たちにいま私たちが残せることを出来ることを考え実行していこうと思います。

会員拡大～人と人との結び～

我々JCは、40歳で卒業という時間の制約があり、常日頃から出会いを大切に、仲間を増やし続けなければなりません。さらに私たちは、単に人を増やすためだけではなく、想いを共有し共にJC運動を展開できる仲間を迎え入れることを考えて拡大活動をしていく必要があります。

親子というのはコミュニティの最小単位です。親と子の結びつきが家族になり、家族の結びつきが、地域社会になり、更に町や村、県、国という単位に続いていきます。一方、青年会議所は会員同士からブロック・地区・日本JCという結びつきがあり、LOM同士や会員同士の結びつきがあります。また、会員一人ひとりには地域に根ざしてしていることから、地域社会との結びつきがあり、青年会議所のネットワークと地域社会との懸け橋となることが出来ます。

東日本大震災においても、東日本台風においても自然災害の前では、一人の人間にできることの限界を痛感し、家族や地域社会、JCや自治体の結びつきによる大きな力の存在に気づかされました。

この色々な結びつきが機能することで、多くの方が助けられ、その有効性が証明されました。その範囲は人材や物流に留まらず、情報や資金など、広い範囲に及びました。

一方、この結びつきは、一時的なことで終わらせることは容易です。求めるだけの関係は続きません。お互いに与え合ってこそ繋げ、続けて行くことができると考えます。“継続していくこと”が青年会議所としての大切な責務だと思います。

JCは意識変革の団体です。この我々個人の意識変革運動が、市民意識変革につながってこそ「まちづくり」ができるようになると思います。会員拡大が進むにつれ、若く経験の少ないメンバーが多くなります。このメンバーに対しても、より良い意識変革をもたらし、人を思う心、地域を思う心を養っていくことが、地域の活性化につながっていくと思います。本年は会員を増やす事とともに、会員を強くすることにも力を入れていきます。

結びに

家族を想い、地域を想い、そして未来を想う、その想いがまわりの人々を巻き込み、市民の意識となり「まちづくり」という運動が進んでいきます。国難ともいわれるこういう時だからこそJCが地域に必要であり、地域に頼られるJCでなければなりません。

基本理念

あきらめない限りすべてのチャレンジは経験となる

基本方針

時代の変化を楽しみ何事にも立ち向かう人材の育成
地域の未来を担う人材を創る青少年育成事業の実施
地域の未来を担う人材を育む地域活性化事業の実施
共に歩む仲間の増強

スローガン

～強く！しなやかに～